

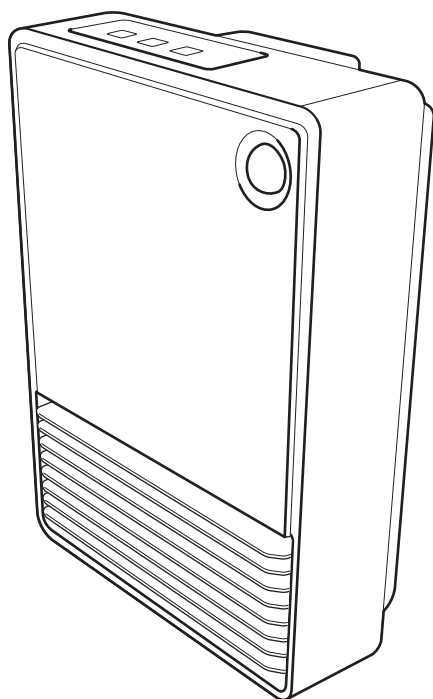
siroca crossline

人感センサーヒーター

SSH-101

取扱説明書

保証書つき



このたびは siroca crossline 人感センサーヒーター SSH-101 を
ご購入いただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前
にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

お使いになる前に

安全上のご注意 2

仕様 3

各部のなまえ 4

お使いになる前の準備 5

使いかた

運転を開始する 6

人感センサーについて 7

運転を終了する 7

ご愛用の手引き

お手入れ／保管のしかた ... 8

別売品 9

故障かなと思ったら 10

アフターサービス 11

お客様相談窓口 11

保証書 12

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならない
でください。

日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

	警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

	( ,  ,  , )	禁止（してはいけない内容）を示します。
	( ,  ,  , )	強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告



分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンター
にご相談ください。



子どもや介護の必要な方だけで使わせたり、
幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがの原因になります。



就寝中や外出中は使用しない
寝具に触れて火災の原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない
操作パネルに水やお茶などをこぼさない
ショート・感電の原因になります。



禁止

スプレーなどの缶や薬品、油、紙類などを
本体の近くに置かない
爆発や火災の原因になります。



禁止

踏み台にしたり、腰をかけたり、寄りかかっ
たりしない
転倒して、けがの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや
針金などの金属物を入れない
火災・感電・やけどの原因になります。



禁止

衣類・タオル・ふとん・カバーなどで本体
を覆わない
故障の原因になります。乾燥などの暖房以外の用途には
使用しないでください。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を
中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・
感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

＜異常・故障例＞

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、
損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭
いにおいがする
- ・本体が作動しない

など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグ
をコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊
社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ 設置に関する注意事項 ◆



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない
転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下の
ような物の上では使わないでください。
毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



禁止

カーテン・ふとんなどの可燃物の近くで使
わない
火災の原因になります。



禁止

棚の中など、周囲を囲まれた場所では使用
しない
火災の原因になります。



水場禁止

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐
れのある場所や湿気の多い場所では使わない
ショート・感電の原因になります。

警告

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは定期的にふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使用方や、交流 100V 以外での使用はしない。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

使用中は電源コードを束ねない
熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む

など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
やけど・感電・けがの原因になります。

注意

◆ 使用上の注意事項 ◆



禁止

火や暖房器具などの近くに置かない
本体や電源コードが変形・変色またはショートし、発火の原因になります。



禁止

犬や猫などのペットの暖房用には使わない
ペットが本体や電源コードを傷つけ、火災・故障の原因になります。



禁止

長時間、皮膚の同じ箇所を暖めない
低温でも長時間皮膚の同じ箇所を暖めていると、低温やけどの原因になります。



禁止

送风口や背面カバーをふさがない
活性炭フィルターを外した状態で使用しない
過熱や誤動作の原因になります。



禁止

使用中や使用後しばらくは、送风口などの高温部に触れない
高温のため、やけどの原因になります。



禁止

暖房器具、テレビなどの電気製品の上で使わない
転倒による火災や電気製品の故障の原因になります。



お手入れは本体が冷めてから行う
高温部に触れると、やけどの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

仕様

品名（型番）	人感センサーヒーター（SSH-101）
サイズ（約）	幅 25 × 奥行 11.5 × 高さ 34cm
電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	1200W、600W、60W（送風モード運転時）
重量（約）	2.0kg

電源コード 長さ（約）	1.8m
安全装置	転倒時自動電源遮断装置、温度過昇防止装置（サーモスタット／温度ヒューズ）
付属品	活性炭フィルター
生産国	中国



この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

各部のなまえ

操作パネル

○ 1200W
○ 600W

パワー

パワーボタン

○ 連続
○ センサー
○ 送風

モード

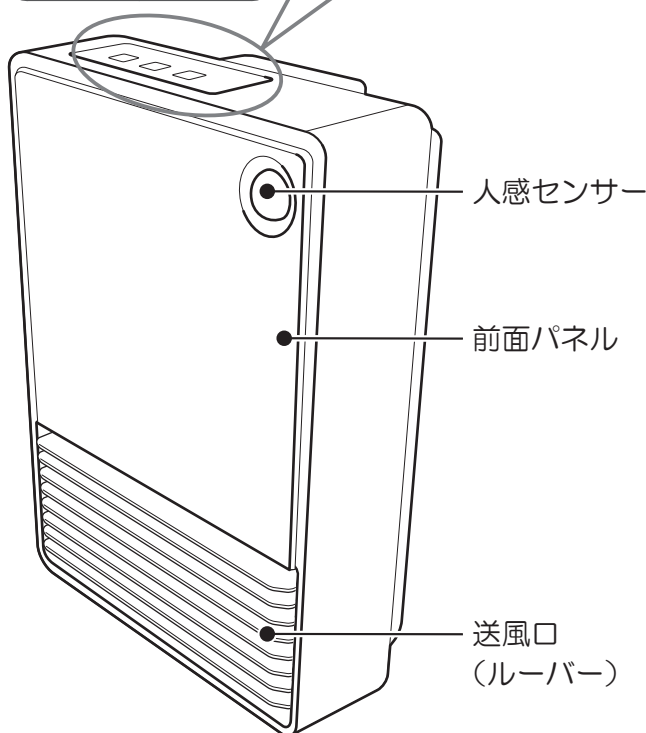
モードボタン

入/切

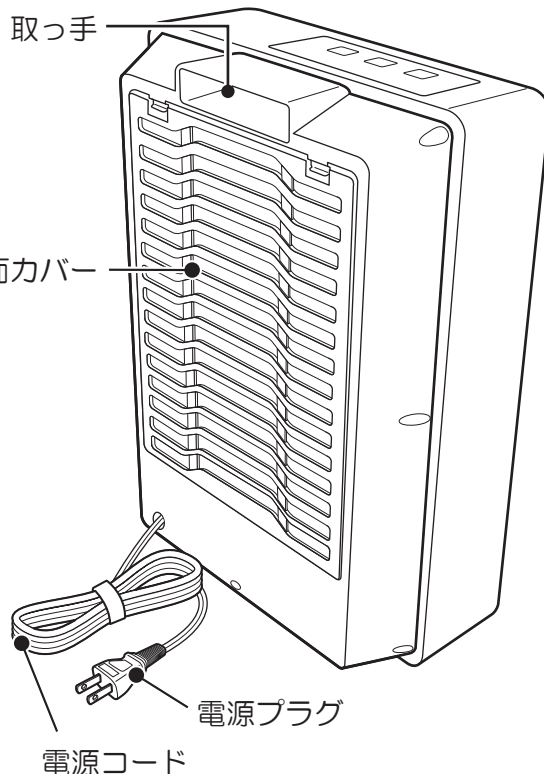
入/切

入/切ボタン

本体（前面）



本体（背面）



付属品

● 活性炭フィルター（脱臭機能付き）

ご購入時は袋に入っています。ご使用前に、活性炭フィルターを背面カバーに取り付けてください。取り付けかたは、8～9ページの「活性炭フィルターのお手入れ・交換」を参照してください。

※ 送風口のルーバーを上下に動かして、風向きを3段階（上・正面・下）で変えることができます。調節範囲は、上向き・下向きがそれぞれ約5度です。

温度過昇防止装置の働き

この製品には、温度過昇防止装置がついており、本体が過熱すると、自動的に電源が切れるようになっています。電源が切れたときは、本体を冷ましてから、再び電源を入れてください。

転倒時自動電源遮断装置の働き

この製品には、転倒時自動電源遮断装置がついており、運転中に本体が倒れたり、傾いたりすると、自動的に運転が停止します。運転を再開する場合は、本体を平らで安定した場所に設置し直してください。

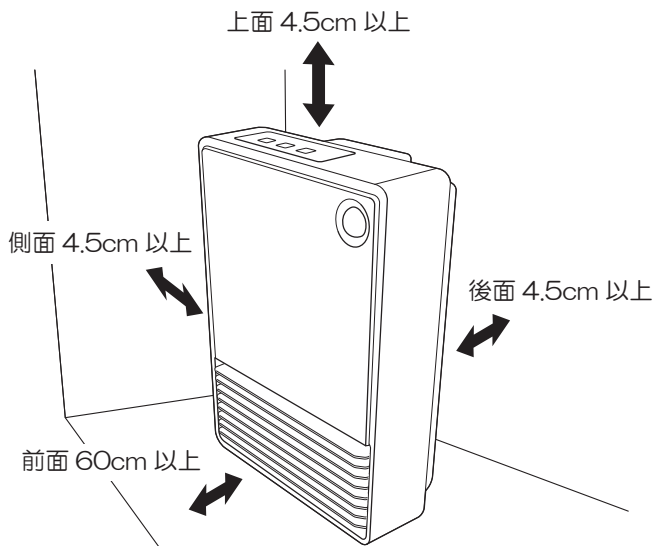
お使いになる前の準備

活性炭フィルターの取り付け

ご使用前に、付属の活性炭フィルターを袋から取り出し、背面カバーに取りつけてください。取り付けかたは、8～9ページの「活性炭フィルターのお手入れ・交換」を参照してください。

設置場所について

ヒーターは水平で安定した場所に、周囲から下図の距離を開けて設置してください。



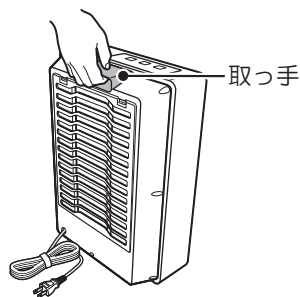
- ※ カーテンやタオルなどの、送風口や背面カバーをふさぐ可能性のあるものが周囲にある場所には設置しないでください。火災の原因になります。
- ※ 可燃物やスプレー缶などを近くに置かないでください。火災の原因になります。
- ※ 直射日光の当たるところでは使用しないでください。変色の原因になります。

人感センサー使用時の設置場所

- カーテンや観葉植物など、風で動くものを人感センサーの感知範囲内に置かないでください。誤動作の原因となります。
- 他の暖房器具などの熱源を人感センサーの感知範囲内に置かないでください。誤動作の原因となります。
- ※ 人感センサーの感知範囲について、詳しくは7ページの「人感センサーについて」を参照してください。

本体を移動するときは

- 取っ手部分をしっかりと持って移動させてください。



運転を開始する

本製品は3種類のモードで運転することができます。

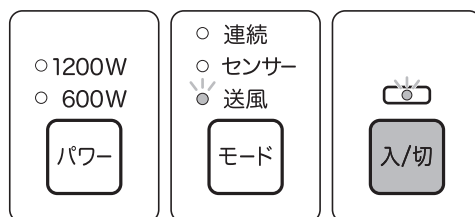
- 連続モード：電源が入っている間、連続して暖房運転を行います。
- センサーモード：人感センサーの範囲内に入った人の動きを感知して自動的に暖房運転を行います。
- 送風モード：電源が入っている間、連続して送風運転を行います。送風運転は、ヒーターは動作せず、室温の風が出ます。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントに差し込むと、「ピー」という音がします。

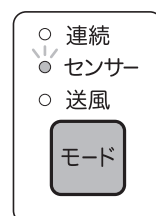
2 入 / 切ボタンを押して、電源を入れる

- 「ピー」という音がして入 / 切ランプ（赤色）が点灯し、運転が開始します。
- 電源プラグを差し込んだ直後の運転モードは「送風」の設定になります。



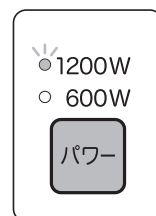
3 モードボタンを押して、運転モードを選択する。

- モードボタンを押すごとに、送風 → センサー → 連続 の順番で運転モードが切り替わります。選択されている運転モードのランプ（緑色）が点灯します。



4 パワーボタンを押して、暖房の強さを選択する。

- パワーボタンを押すごとに、1200W（強）と600W（弱）が切り替わります。選択されているパワーのランプ（緑色）が点灯します。



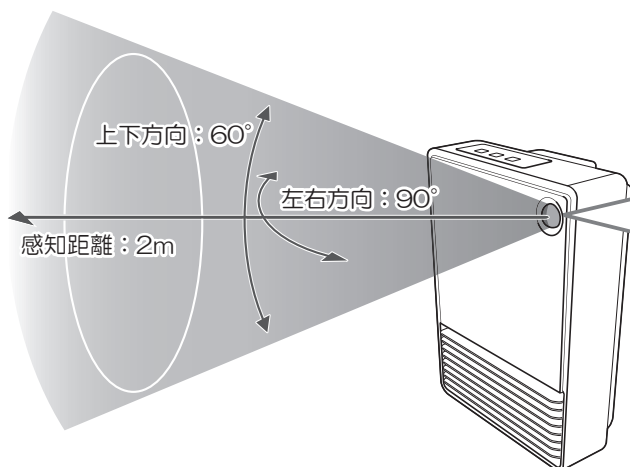
- 送風モードのときは、暖房の強さを選択することはできません。
- センサーモードで運転中、人の動きを感知せずに自動で停止すると、運転モードとパワーのランプ（緑色）が点灯から点滅に変わります。
- 連続モードで8時間続けて運転すると自動的に運転が停止します。運転を再開する場合は、入 / 切ボタンを押してください。

人感センサーについて

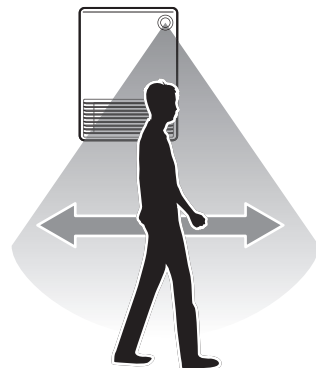
この製品は、内蔵されている人感センサーの感知範囲内にある人などの熱をもった物体の動きに反応して運転を行います。

- 人感センサーの範囲内に人が入ると自動的に運転を開始し、人の動きが3分間感知されないと運転が停止します。
- 人の動きが感知されない（運転停止）状態のまま12時間経過すると、自動的に電源が切れます。運転を再開する場合は、入/切ボタンを押してください。

人感センサーの感知範囲



熱を持った物体が感知範囲を横切る方向に動くと感知します。



正面からゆっくりと近づいた場合は動作しないことがあります。



人感センサーについて

運転を終了する



※ 人感センサーは熱に反応するため、次のような場所では正常に動作しないことがあります。

- カーテンや植物などの風で動くものの近く
- 人感センサーの感知範囲に直射日光が当たる場所
- 他の暖房器具などから送風される場所

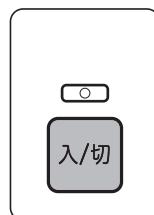
※ 人感センサーの感知範囲内に人がいても、動きが少なかったり、動かないでいたりする場合は、運転が停止します。

※ 人感センサーは、他の暖房器具などの熱や、ペットなど人以外の動くものにも反応して動作することがあります。

運転を終了する

1 入/切ボタンを押して、電源を切る

- 「ピー」という音がして、運転が停止します。
運転設定（運転モード／暖房の強さ）のランプ（緑色）と入/切ランプ（赤色）が消灯します。
- 連続モードまたはセンサーモードで運転していた場合は、電源を切っても、冷却のために15秒間送風が続きます。



2 電源プラグをコンセントから抜く

お手入れ／保管のしかた



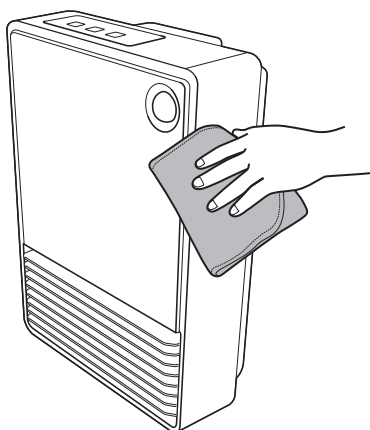
※ お手入れや保管は、電源を切って本体が冷めた後（約 30 分後）に、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。高温部に触れると、やけど・けがの原因になります。

※ 本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、本体や操作パネルに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。

※ ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉は使わないでください。傷・変質・変色の原因になります。

本体のお手入れ

- 乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどい場合は、ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤をしみこませた布を固く絞ってふいてください。

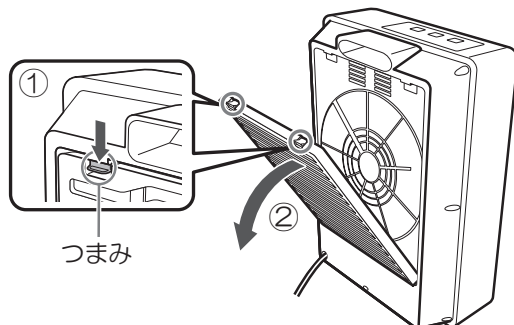


活性炭フィルターのお手入れ・交換

- 活性炭フィルターにごみやほこりがたまると、煙や異臭が発生したり、本体が熱を持って故障の原因になったりすることがあります。下記の手順で、定期的（1 か月に一度以上を目安）にお掃除してください。
- 活性炭フィルターの脱臭効果を保つには、1 年に 1 回を目安に、新しいものと交換することをおすすめします。（使用環境や使用条件により異なる場合があります。）部品の交換については、9 ページの「別売品」を参照してください。

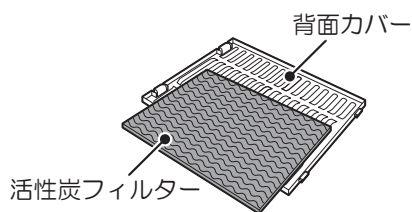
1 背面カバーを取りはずす

- ① 背面カバー上部のつまみ（左右 2 か所）を押して下げる。
- ② つまみを押し下げたまま背面カバーを手前に引き出す。



2 活性炭フィルターにたまったごみやほこりを、掃除機で取り除く

- ※ 活性炭フィルターは水洗いしないでください。
 - ※ 活性炭フィルターは破損しやすいので、ていねいに取り扱ってください。
 - ※ お手入れしても汚れが取れない場合や、傷みがひどい場合は、活性炭フィルターを新しいものに交換してください。
- ⇒ 部品の交換については、9 ページの「別売品」を参照してください。



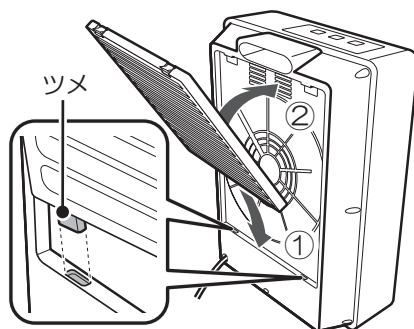
● ご購入後、はじめて使用する場合は、活性炭フィルターを袋から取り出して、次の手順に進んでください。

3 背面カバーに活性炭フィルターを重ねる



4 背面カバーを本体にしっかり取りつける

- ① 背面カバー下部のツメ（左右 2 か所）を本体にはめ込む。
- ② 「カチッ」と音がするまで背面カバー上部を押して取りつける。



お手入れ／保管のしかた

別売品

保管する

- お手入れをした後、元の包装ケースに入れるか、ポリ袋をかぶせてほこりや湿気の少ないところで保管する。
- ※ 保管するときに、電源コードを本体に巻きつけないでください。電源コードが傷む原因になります。
- ※ 本体を移動するときは、取っ手部分をしっかりと持って移動させてください。

別売品

劣化・消耗したり、紛失してしまった時は、お買い上げの販売店でお買い求めください。

別売品	部品コード
活性炭フィルター	SSH-101-FT

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認くださいこと	直しかた
運転しない。 温風が出てこない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	本体が傾いていたり、不安定な場所に置かれていたりしませんか。	転倒時自動電源遮断装置が働き、運転が停止している場合があります。本体を平らな場所に置いて、お使いください。
	本体周囲の温度が高くなっていませんか。	温度過昇防止装置が働き、自動的に電源が切れている場合があります。本体が冷めてから、再び電源を入れてください。
	センサーモードで運転していませんか。	センサーモード運転時は、人の動きが3分間感知されないと運転が停止します。用途に合わせて運転モードを連続モードに切り替えてください。
自動で電源が切れる。	連続モードで運転を開始してから、8時間が経過していませんか。	連続モードで8時間続けて運転すると自動的に運転が停止します。運転を再開する場合は、入 / 切ボタンを押してください。
	センサーモードで運転していませんか。	センサーモード運転時に、人の動きが感知されない（運転停止）状態のまま12時間経過すると、自動的に電源が切れます。運転を再開する場合は、入 / 切ボタンを押してください。
においがする。	使いはじめたばかりではありませんか。	はじめてお使いになるときに、においがすることがありますが、故障ではありません。お使いになるうちに、においはなくなります。
	活性炭フィルターが汚れていませんか。	活性炭フィルターは定期的にお手入れをしてください。活性炭フィルターの脱臭効果を保つには、1年に1回を目安に、新しいものと交換することをおすすめします。（使用環境や使用条件により異なる場合があります。） 部品の交換については、9ページの「別売品」を参照して、お買い上げの販売店でお求めください。
	送風口または背面カバーが汚れていませんか。	送風口または背面カバーを掃除してください。
センサーモードで運転時、人感センサーが働かない。	人感センサーの感知範囲内に、動くものや熱源になるものがありますか。	動くものや熱源を、人感センサーの感知範囲外に移動させてください。

長年ご使用の人感センサーヒーターの点検を！

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。
誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- 株式会社オークセール（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から 1 年未満）の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から 1 年以上）修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から 1 年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

この人感センサーヒーターの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

＜サポートセンター＞ TEL: 03-5413-6125 FAX: 03-5413-6128 E-mail でのお問い合わせ: info@aucsale.com 受付時間: 10:00～17:00 (土、日、祝祭日および当社指定休業日を除く)	＜修理センター＞ 〒343-0032 埼玉県越谷市袋山 648-5 株式会社オークセール サポートグループ返品・修理センター
---	--

サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- ・ サポートセンターおよび修理センターの電話番号／FAX 番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

siroca の最新情報はこちらでチェック！

 siroca 公式
Facebook (フェイスブック)
<http://www.facebook.com/siroca.jp>

 チーム siroca のブログ
<http://ameblo.jp/siroca/>

 AucSale サポートストア
<http://aucsale.jp/>